

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成 24 年 3 月 1 日 (2012.3.1)

【公表番号】特表 2011-513155 (P2011-513155A)

【公表日】平成 23 年 4 月 28 日 (2011.4.28)

【年通号数】公開・登録公報 2011-017

【出願番号】特願 2010-550751 (P2010-550751)

【国際特許分類】

B 6 5 D 81/32 (2006.01)

A 6 1 J 3/00 (2006.01)

A 6 1 J 1/10 (2006.01)

A 6 1 J 1/05 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 81/32 G

A 6 1 J 3/00 3 1 4 Z

A 6 1 J 1/00 3 3 3 A

A 6 1 J 1/00 3 5 1

A 6 1 J 1/00 3 3 0 B

A 6 1 L 31/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 1 月 10 日 (2012.1.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

混合及び合成物の分注のためのポーチ (10) であって、ポーチ本体 (12) とポート本体 (70) とを有するポーチ (10) において、

前記ポーチ本体 (12) は、

対向する、第 1 及び第 2 の主要で可撓性を有する壁 (30, 32) であって、その各々の周辺部に沿って互いに封止されて内部チャンバ (18) とポーチ周辺部 (36) とを画定する、壁 (30, 32) を含み、

前記ポーチ本体 (12) は C 字形状を有し、

前記ポート本体 (70) は、前記第 1 の壁 (30) から突出して、前記内部チャンバ (18) へ流体的に開放されている、ポーチ。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のポーチにおいて、

前記ポーチ周辺部 (36) は、

対向する第 1 及び第 2 の終端の端部 (44, 46) と、

対向する第 1 及び第 2 の側面の端部 (40, 42) であって、前記終端の端部 (44, 46) の間を延伸する、第 1 及び第 2 の側面の端部 (40, 42) と、を含み、

前記終端の端部 (44, 46) 及び前記側面の端部 (40, 42) によって画定される共通平面に対して、当該側面の端部 (40, 42) は当該終端の端部 (44, 46) の間を延伸状態で湾曲する、ポーチ。

【請求項 3】

請求項 2 に記載のポーチにおいて、  
前記終端の端部（４４，４６）は、前記共通平面に対して前記側面の端部（４０，４２）の間で延伸状態で実質的に直線である、ポーチ。

【請求項 4】

請求項 2 に記載のポーチにおいて、  
前記第 1 の側面の端部（４０）の円弧長さは、第 2 の側面の端部（４２）の円弧長さよりも長い、ポーチ。

【請求項 5】

請求項 2 に記載のポーチにおいて、  
前記第 1 の側面の端部（４０）の直線長さは、前記第 2 の側面の端部（４２）の直線長さよりも長い、ポーチ。

【請求項 6】

請求項 1 に記載のポーチにおいて、  
前記ポーチ周辺部（３６）は、実質的に非弾力性である、ポーチ。

【請求項 7】

請求項 1 に記載のポーチにおいて、  
前記ポーチ本体（１２）は、前記内部チャンバ（１８）の空の状態及び満たされた状態の両方で前記 C 字形状を維持するように構成されている、ポーチ。

【請求項 8】

請求項 1 に記載のポーチにおいて、  
前記内部チャンバ（１８）の容量は、前記ポーチ周辺部（３６）及び前記第 1 及び第 2 の壁（３０，３２）の間の距離によって形成される領域によって画定され、  
更に、前記ポーチ周辺部（３６）は一定で、前記第 1 及び第 2 の壁の間の距離は可変である、ポーチ。

【請求項 9】

請求項 1 に記載のポーチにおいて、  
前記ポーチ本体（１２）の前記 C 字形状は、中央部分（５０）と、当該中央部分（５０）から延伸する対向する翼部分（５２，５４）とを含み、  
更に、前記ポート本体は（７０）は、前記中央部分（５０）内で提供される、ポーチ。

【請求項 10】

請求項 1 に記載のポーチにおいて、  
前記ポート本体（７０）の前記第 1 の壁（３０）からの延伸は、前記ポーチ周辺部（３６）によって画定される共通平面に対して垂直である、ポーチ。

【請求項 11】

請求項 1 に記載のポーチにおいて、  
前記ポート本体は、シリンジ機器（１０６）の分注端部（１０８）を前記内部チャンバ（１８）に対して流体的に封止された方法で受容するように構成される、ポーチ。

【請求項 12】

請求項 1 に記載のポーチにおいて、  
前記ポーチ本体（１２）は、前記第 2 の側壁（３２）が平坦な表面（１０２）上に配置されるとき、前記ポーチ周辺部（３６）は、当該平坦な表面（１０２）と平行であり、前記ポート本体（７０）は、当該平坦な表面（１０２）に対して垂直に延伸する、ポーチ。

【請求項 13】

請求項 1 に記載のポーチにおいて、  
前記ポート本体（７０）に選択的に取り付けられて前記第 1 の壁（３０）に対向するキャップ（１６）を更に有する、ポーチ。